

## 平成 23 年 1 月 29・30 日「菜の花忌」運動について

司馬遼太郎氏は、日本が生んだ偉大な小説家・評論家・思想家です。氏は文化勲章受章者であるだけでなく、常に私たちの郷土に溶け込んでおられた庶民の小説家でもありました。「東大阪名誉市民」でもある氏の業績を顕彰する責務が地域に生きる私たちにはあります。さて、司馬遼太郎氏の命日の 2 月 12 日は、「菜の花忌」と呼ばれています。何故、「菜の花忌」と呼ばれているのかと言うと、①野の花である「菜の花」を司馬遼太郎氏がこよなく愛した事、②その花が咲く頃に亡くなった事、③ロシアと日本の友好を取り持った商人、高田屋嘉兵衛を描いた氏の小説である「菜の花の沖」に因んでいます。



写真①

### 安藤忠雄氏設計の司馬遼太郎記念館(本校西隣)

このことから、「町に菜の花を咲かせよう!」と布施高校に隣接する司馬遼太郎記念館が、地域の諸団体や市民に協力を呼び掛け、菜の花で町をいっぱいにする運動が始まりました。布施高校もこの運動に積極的に協力しています。



写真②

平成 23 年 1 月 29 日、司馬遼太郎氏の書斎前で本校園芸部員による菜の花の手入れ。司馬遼太郎先生も、たいへん喜んでおられるのではないのでしょうか。



写真③

1月30日、本校の硬式野球部員やサッカー部員を含め、地域の諸団体・市民が本校食堂に参集して、菜の花のプランターを市内の各地に設置する活動に参加しました。本校の校長・教職員も積極的に参加しました。



写真④

本校の周辺は、菜の花ロードとも呼ばれています。布施高校の校門付近も菜の花のプランターが配置され、「菜の花で町おこし」の一助となっています。

これから、3月にかけて八戸ノ里・小阪周辺等は菜の花で一杯になるでしょう！